

## ▶▶▶ 出席報告

会員数	計算に用いた 会員数	出席	出席率
60名	57名	49名	85.96%

欠席者 朝日・福本・後藤・加藤・宮村・森田・大塚・杉本 以上8名

他RCへの出席者 小林・山下(7/28新富士)  
小林・内野(7/31裾野) 小林・佐々木(8/7富士宮西)  
小林・山下(8/19沼津柿田川) 小林・内野(8/20沼津西)  
小林・佐々木(8/24富士宮) 以上12名

## 👏 こんにちは、ようこそ

ゲスト ファイルティーチャー 代表 世古真一様  
西日本電信電話(株) 沼津営業支店長 山崎克之様

## 🌸 おめでとう

会員誕生日 一杉泰博君 8.26  
坂倉直子さん 8.27

## 📦 スマイルボックス

一杉泰博君: 誕生日のお祝いありがとうございます。  
坂倉久慶君: 妻の誕生日のお祝いありがとうございます。  
横山貞治君: 世古様、本日の卓話よろしくお祈りします。  
羽野久雄君: 欠席が多く申し訳ありません。  
金子恵一朗君: 早退させていただきます。

## 卓話

### やっとわかった沼津の魅力

ファイルティーチャー 代表 世古真一様

#### □自己紹介

ファイルティーチャーという事業経営をしています。29歳になった1990年9月に退職、10月に上京し研修会社で半年間の修行後、1991年4月に自営業者として独立開業。9月に屋号を Fileteacher ファイルティーチャーと命名。代官山駅の近く、東京都渋谷区猿楽町を拠点として活動しています。2013年5月より実家の両親の介護のことも考え沼津市平町の2拠点とし、2020年10月、事業家として独立して30年になります。来年60歳から目指す目標はファイルティーチャーを沼津から情報発信できる世界一の手帖会社にするということです。



ファイルティーチャー(File teacher)とは、情報を綴じておく3つのファイル「手帖と袋と箱」のことです。思い出を耕し、人生を磨いてくれる自分だけの“先生”のような、“メンター(師匠)”のような、“カウンセラー”のような機能を持つファイルを作る道具とその技術を体系化した意味です。

この「手帖と袋と箱」の使い方を覚えてから、「時間を増やすことができるようになった感動」を伝えたい!という思いからファイルティーチャーを設立しました。「手帖と袋と箱」この3つのシンプルなファイリングツールに統一することで、なるべく捨てない片付けの考え方をベースとして、企業理念の抽出サポート、社員研修の企画、書類管理アドバイス、総合的なファイリングのコンサルタント、カウンセラー、自分史の制作、公演・研修の企画、音楽イベント、出版、CDなど各種媒体のプロデュース、事業承継のサポート、地域の活性化等の各種企画制作の仕事をしています。

#### □沼津の魅力

代官山と沼津、都会と地方の2拠点を軸にしてきた活動から、沼津だけに住んでいた頃には気づくことができなかった沼津の魅力についてお話しさせていただきたいと思います。

一言で言うと、沼津は「剰余生産都市」であるということ。剰余とは余り物という意味ですが、「余剰」として使い道に困ってしまう余り物という意味ではなく、余りそうなものに新たな価値を見つめることができる能力のある人がたくさんいる地域だということです。このことの代表的なものは、「アジの開き」と、「ゴミの分別収集の先駆け」ということから言えます。料理を作り余って捨てなければならないものを片付ける場所…「伊豆半島の台所」的な機能を持った都市という魅力です。また、宿場町、港町としての多様性を持った人々がクロスする地域が生み出す「宴の郷」、狩野川によって分断された地域に橋を架けることで人も物も心までも繋いで、交流させようとする「架け橋の郷」、沼津の子守唄が伝承する「子育ての郷」、沼津兵学校が象徴となる「学びの郷」としての魅力を見つけました。

これらの魅力の元になる事例として、「海難事故にあったロシア人500人を助けたヘダ号造船の話」、「江戸時代まで沼津がツアーミュージシャンの中心地だった瞽女宿(ごぜやど)があった話」、「西郷隆盛の弟、西郷従道が所有していた静浦にある西郷島の話」、歌舞伎役者が一度は演じてみたいと憧れる、「伊賀越道中双六沼津の段の平作地蔵の話」などから、私がやっとわかった沼津の魅力についてお話できればと思っています。

そして、今回の卓話が、2023年沼津市政100周年の企画のお役に立つことが少しでもできれば幸いです。